

## 京都ノートルダム女子大学 学生による地域協働ふるじえくと 障がい者自立支援事業所と協働でパン販売をスタート

京都ノートルダム女子大学（学長：中村久美、所在地：京都府京都市左京区）現代人間学部 生活環境学科（福祉生活デザイン学科）では、「福祉生活デザイン特論」で地域・企業と協働し、現代社会を取り巻く諸課題に実践的に取り組んでいます。

「福祉生活デザイン特論」ゼミのひとつ、地域福祉と活動ゼミ（担当教員：酒井久美子教授）では、2016年度から飛鳥井ワークセンター（障がい者自立支援事業所）の焼き立てパンの販売を、事業所のみなさんと協働で取り組んでいます。このパン販売は、5月25日以降、第二・第四水曜の12時15分から販売され、この売上がワークセンターで働く障がい者の方々の給料に繋がることから、長期にわたって活動を続けています。報道機関の皆様におかれましては、是非ともご取材いただきますようご案内します。取材いただける場合は、以下まで申込みください。



昨年のパン販売の様子

### 【本件のポイント】

- ①障がい者自立支援事業所「飛鳥井ワークセンター」と京都ノートルダム女子大学生が協働して、月2回、大学構内でパン販売の機会を設けます。
- ② 売上はワークセンターで働くメンバーの給料となり、売上増は彼らのより良い生活、生きる意欲に繋がります。
- ③ この協働作業を通じて、ワークセンターで働くメンバーへの理解を深めることにより、学生の地域福祉の学びに繋がります。

### 【本件の概要】

企画実施：現代人間学部福祉生活デザイン学科 地域福祉と活動ゼミ（3年次生7名、教員：酒井久美子）  
協働施設：社会福祉法人 修光学園 飛鳥井ワークセンター（障がい者自立支援事業所）  
販売商品：手作りパン

販売方法：学内での対面販売（販売対象：京都ノートルダム女子大学の学生・教職員）

販売場所：京都ノートルダム女子大学 キャロライン館 1 階アセンブリホール

〒606-0847 京都市左京区下鴨南野々神町 1 番地 ※京都市営地下鉄「北山」駅から徒歩7分

販売日程

- ①2022年5月25日(水) 12:15～13:15
- ②2022年6月8日(水)、6月22日(水)各日12:15～13:15
- ③2022年7月13日(水)、7月27日(水) 各日 12:15～13:15

**【生活環境学科について】**※2021年4月より福祉生活デザイン学科から生活環境学科に名称変更

生活環境学科では、衣食住やライフプランニング・福祉まで、「生活」をトータルデザインする女性を育成します。

入学後1年をかけて衣・食・住、家族、生活経営・経済、生活福祉、精神保健福祉を幅広く学び、2年次から以下の3コースに分かれて専門性を高めます。

- ◆衣食住を中心に生活の質の向上を探求する「生活科学コース」
- ◆ライフプランニングを可能にする「生活経営・経済コース」
- ◆こころの時代に求められる精神保健福祉士の養成に特化した「精神保健福祉コース」

**【京都ノートルダム女子大学について】**

京都ノートルダム女子大学は、キリスト教カトリック精神による女性教育と「徳と知（Virtus et Scientia）」を兼ね備えた女性を育成することを建学の精神とし、1961年に創立されました。

「徳」とは、倫理観を基本に人々のために十分行き届いた行動をすること、つまり善の行為ができる人に備わるものです。また「知」とは、社会のリーダーシップをとるに必要な高度な知識を指します。

本学はこれをモットーとして、具体的な行動指針としてあらわしたミッションコミットメント「**尊ぶ 対話する 共感する 行動する**」を兼ね備えた人間形成を目指す教育を行っています。

京都ノートルダム女子大学は創立60周年を迎えます

## 「共生社会を創造する女性の育成」

～人をつなぎ、社会を紡ぐ～



本学は、建学の精神である「徳と知」の理念と、それを体現するためのミッションコミットメント「尊ぶ」「対話する」「共感する」「行動する」により、人と人をつなぎ、多様性を認め合う社会を紡ぐ人材を育てていきます。女性ならではのしなやかさと、本学で学び得た「考える力」と「行動力」、それに他者への共感によって、これからの共生社会の担い手となる志高い女性の育成を、創立60周年を機に、改めて社会に誓います。

■取材に関するお問い合わせ

京都ノートルダム女子大学 企画広報課 長野

E-mail : [kikaku-koho@ml.notredame.ac.jp](mailto:kikaku-koho@ml.notredame.ac.jp) 電話 : 075-706-2857 (直通)